

2期目スタート3カ月

6月定例会終了 — 6/12～7/5 —



志政会新メンバー12名にて 6/28 市内施設を視察

新たな議員構成・議会組織となった2期目の（私にとって）6月定例会が終了いたしました。新人時代のような甘えはもう許されないと、自らに言い聞かせて臨んだものでありましたが、気持ち空回りした感もございました。市長所信表明・主だった議案・私の一般質問等ご報告いたします。

市長所信表明

議会の冒頭、市長の市政運営に対する所信表明がありました。表明最終部を紹介します。今後の市政に於いては、運営がこの市長所信表明にブレていないかチェックさせていただくと同時に、私としても、自身の2期目への決意が市長の所信とニアイコールでありますので、この方針に沿うような私の提言もしていきたいものと考えております。

「これからの10年は、本市のまちづくりが、まさに新しいステージへステップアップするための大切な10年間になると思っています。そして、多くの市民の皆様「磐田市は住みやすい、暮らしやすい」と思っていたら、ふるさとへの愛着と誇りをより強く感じていただけるような、10年間にしなければならないと考えます。

そのため、今までに取り組んできたことを土台として、地域の思いや市民生活を第一に考えながら、本市の豊かな自然や個性ある歴史・文化、多様な食材、スポーツ、“ものづくり”の技術など、全国に誇れる素材や魅力を最大限活用し、将来の本市発展の基礎づくりを進めていきます。

そしてこれからも、初心を忘れず、「まちづくりは人づくり」との思いを新たに、「市民第一、現場第一、行動第一」を基本姿勢として、全職員の先頭に立ち、「誰もが元気で住みやすく」、「企業活動が活発で働く場所がしっかり確保され」、「スポーツが盛んで文化の香り高く」そして「子育て・教育だったら磐田」と言っていたら、全体のバランスが取れ、どこにも負けない「総合力ナンバーワン」のまちを目指して市政運営に取り組んでいく決意です。」

6月定例会議案

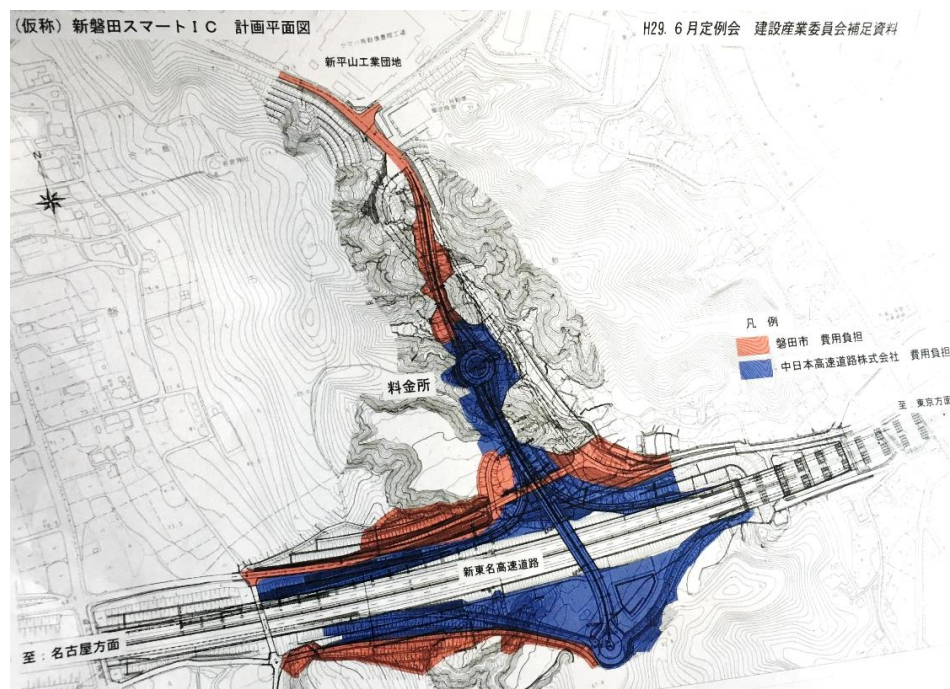
一般議案 13 件、人事議案 21 件の全ての議案を全会一致で可決しました。
主な議案は下記の通りです。

○平成 29 年度磐田市一般会計補正予算（第 1 号）

（仮称）新磐田スマート IC 設置に係る経費 1,262,800 千円について、平成 30 年度から平成 32 年度までの債務負担行為を設定。

（一地権者との折衝が難航して工事が遅れていたが、その難航地権者の用地を避けて工事をスタートさせることとなった）

○新東名高速道路（仮称）新磐田スマートインターチェンジ工事委託に関する協定の締結 上記債務負担行為が議決されたスマート IC 工市の市施工分概算額 12 億 6,280 万円を、 中日本高速道路株式会社東京支店と協定締結。



○磐田市渚の交流館条例の一部を改正する条例の制定

渚の交流館の管理運営について、指定管理者制度を導入するため必要な事項を定めること、
休館日の変更（月曜日 → 火曜日）に伴う条例の一部を改正。

（来館者の多い日曜日の後処置を月曜日稼働により可能とし且つ火曜日は来館者が少ない。）

○平成 29 年度卓球場・アーチェリー場建設工事（建築）請負契約締結

制限付き一般競争入札が 2 回にわたり予定価格超過のため、随意契約により、平野建設（株）
と予定価格以内の 2 億 6,568 万円で工事請負契約を締結。

卓 球 場 木造平屋建て 延床面積 931.02 m²

アーチェリー場 敷地面積 約 1,500 m²

屋外トイレ 木造平屋建て 延床面積 67.48 m²

——磐田市かぶと塚公園内——

○磐南浄化センター耐震補強及び機械・電気設備長寿命化更新工事委託に関する協定の締結

随意契約 日本下水道事業団 714,000,000 円

○磐田市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部を改正する 条例の制定

保育園等の保育料について、低所得世帯や多子世帯等の負担軽減を図るために、国の基準保育料が改定されたことに伴い本条例の一部を改正。適用日は平成 29 年 4 月 1 日である。

○磐田市農業委員会の委員任命につき同意を求めることについて 19 件 (19 名)

農業委員会委員の任期が平成 29 年 7 月 19 日をもって満了となることから、後任の委員の任命について議会同意。

○磐田市副市長選任につき同意を求めることについて

7 月 9 日をもって鈴木 裕 副市長退任。後任に 現環境水道部長高田眞治氏を選任。

陳情・請願

今定例会では陳情 2 件、請願 1 件があり、いずれも身近な関心の高い事項でありましたので各議員・各会派・付託された各委員会とも、大いに議論したものであります。3 事項とも「不採択」の結論となりました。

陳情第 1 号：磐田市社会福祉協議会における会員会費規程の問題点につき必要な指導を磐田市に求める陳情 (付託委員会 民生教育委員協議会)

陳情第 2 号：市議会議場の国旗・市旗掲揚に関する陳情 (付託委員会 議会運営委員協議会)

請願第 1 号：浜岡原子力発電所の再稼働を認めないよう求める請願 (付託委員会 総務委員会)

注1. 議会運営委員会は、多数決でなく全会一致を原則とする申し合わせとなっており、以前から、多数は国旗・市旗掲揚意向なるも全会一致に至っていない経緯あり。

注2 請願 1 号は、日本共産党磐田市議団 2 名、社民・明るい暮らしの会 2 名が賛成。

私の一般質問

私の議員活動テーマは、“「磐田に住んでよかった」と実感できるまちづくり”であります。そのためには、実現してほしい・実現させたい課題がまだまだあります。そうした中で、当局には まずこれに取り組んでほしいとする 2 項目について一般質問をいたしました。

1. 働くことに悩みを抱えている若者無業者への就労支援対応について

- (1) 生活困窮者自立支援法に沿い、磐田市として生活困窮者への相談・支援事業がスタートして 2 年となるが、利用者状況・どのようなことが見えてきたかを、立ち上げ後 1 年となる就労準備支援センターとあわせて伺う。またひきこもり者の見えてきた状況・対応についても伺う。
- (2) 就労準備支援センターは生活困窮者に限定しているのであるが、そうした限定の範囲を超えての相談事例はどうであるのか伺う。
- (3) 「国税調査就業状態」から抽出された磐田市のハローワークにも行っていないであろう若年無業者推定が 1,888 人で 4.25% となっており、近隣市を上回る高い率となっていることについて見解を伺う。
- (4) 次の世代に引き継ぐ・やっておくべきことを考慮した時、生活困窮者以外の若年無業者対応について浜松市や掛川市の傘の下の構図でなく、磐田市として自前で対応する方向に早く持っていくべきと考えるが見解を伺う。
- (5) 上記 (4) の方向については、法に沿う若年無業者支援対策として「サポステ」設置あるい



は「子ども・若者総合センター」設置等の検討研究から入ることが推定される。市として早速にそうしたことを政策テーマに加えて欲しいと思うが、市の考えを伺う。

市長 答

- ・新規相談受付件数は平成 27 年度 239 件、28 年度 313 件、就労準備支援センターは、平成 28 年度 20 名中 7 名が就労しており、一定の効果ありと判断。
- ・ニート・ひきこもりなど就労に悩む若者の実数を正確に把握することは困難。本市の非労働力人口の割合が近隣市と比較して下回っていることから、若年無業者が特に高いという認識はない。そういう方向が危惧されるような社会状況下にあることの危機感を持っている。
- ・(サポステ等) 今のところ設置は考えていないが、調査研究はこれからもしていく。

2. 地域交流センターに「福祉お困りごと相談窓口」の開設について

- ・地域交流センターに相談窓口ボランティアを、日時を決めて配置し、福祉関係とする範囲をもって、困ったら何でも相談できる窓口を設置することの市の見解は。

市長 答

現在は交流センター職員が担っており、現時点では相談窓口ボランティアを設置する考えはない。こういうことが、将来早くできるようになればいいなという思いでやっている。

※今回の一般質問に至った背景について、上記“新着情報”に掲載

※一般質問全文について、上記“新着情報”に掲載

所管事務調査事項

私の所属している建設産業委員会では、本年度一年を通じて下記事項について継続調査を決定いたしました。

1. ゴミ処理施設の諸課題について
2. 産業振興について
3. 中心市街地活性化について

以 上